

2015年度 広域ヨーロッパ研究センター活動報告

広域ヨーロッパ研究センター（WERC）は平成27年度に以下のような活動計画・方法を設定し、研究をすすめてきた。細目ごとに具体的な活動内容を記す。

1. WERC研究員および客員研究員の参加する研究会を開催し、広域ヨーロッパ研究の成果を共有するとともに、コースや研究分野を越えた交流をはかる。
2. 外部機関の研究者等を招聘し、特別講義、パネルディスカッション、ワークショップ、小シンポジウムなどを開催する。
3. 「European Studies 関連科目」のリーフレットやWERCウェブサイトを拡充し、学部学生・大学院生にかぎらず、学内外に広域ヨーロッパ研究の知的な魅力をうったえる。
4. 特別講義、パネルディスカッション、研究会、合同発表会などをウェブ配信する。

◇ 講演会・ワークショップの開催

ミルチャ・イオアン・パシユク（欧州議会副議長、2015年7月15日）
「ウクライナ危機の冷戦後欧州安全保障体制へのインパクト」

ライナー・ハートマン（ブレーメン経済工科大学・教授、2015年10月27日）
"Sustainable tourism in cultural heritage sites"（文化遺産における維持可能な観光）

サイモン・ホール博士（スコットランド教育庁・スコツ語コーディネーター、2015年11月11日）
「スコットランド文化の多様性を探る—オークニー諸島の文化的・文学的アイデンティティーを中心に—」

平体由美（札幌学院大学人文学部・教授、2015年11月13日）
「病と健康の境界線をひきなおす—20世

紀初頭アメリカの公衆衛生行政—」

初見基（日本大学文理学部・教授、2015年11月20日）
「戦後ドイツにおける『記憶文化』」

佐野直子（名古屋市立大学・准教授、2015年12月18日）
「英語ギライのすすめ」

カルロス・ヘルナンデス-カリオン（バジヤドリード大学、2015年12月22日）
“Innovation, cultural icons, and elite development: A network approach”

ギユン・クット（ボアジチ大学国際関係学部・教授、2016年1月12日）
「トルコの外交政策」

クリストフ・マルケ（フランス国立東洋文化研究学院教授・日仏会館フランス事務所所長）・芳賀徹（静岡県立美術館長）（2016年1月26日）

ワークショップ「江戸時代の民画を再考する」

クリストフ・マルケ（2016年1月27日）
「美術史からみた日仏文化交流—明治時代の河鍋暁斎の例から考える—」

◇ WERC 公式ウェブサイトの運営

WERC の運営する公式ウェブサイト（<http://werc.u-shizuoka-ken.ac.jp>）を充実させ、閲覧者へのサービスを向上させることにつとめた。研究員に関連する情報の速報、シンポジウムと講演会・ワークショップの告知と記録の公開をおこなった。

◇ 「広域ヨーロッパ論」共通テキスト

「広域ヨーロッパ論」共通テキスト（電子版）を作成する6年計画の4年目として、ひきつづきセンター内の研究会を開催し（7.に記載した3回）、研究員それぞれの専門領域の研究動向と今後の展望について情報の交換・共有をおこなった。

◇ 教育関連資料の提供

広域ヨーロッパの複眼的な理解を軸にした「European Studies 関連科目」のリーフレットの情報を更新し、ウェブサイトに掲載した。

合同ゼミ学生発表会（2015年12月8日）の企画運営に協力し、複数の研究員のゼミが発表に参加した。

◇ 「内なる国際化」および協定校との学術交流の推進

2015年6月16日、鬼頭学長にご参会いただき、協定校から本学に交換留学で来ている留学生（MGIMO、ボアジチ大学）との懇談会を実施した。

ボアジチ大学とメヴラナ・プログラム（トルコ高等教育評議会による国際交流支援助成）に共同申請するために学長署名を交わし、申請準備を完了した。

ボアジチ大学からの留学生が佐藤ゼミの学生とともに合同ゼミ学生発表会に参加し、イスラームに関する報告をおこなった。

◇ ブリュッセル自由大学（ULB）との学術協力活動

2016年3月に小窪研究員がブリュッセルを往訪し、ブリュッセル自由大学（ULB）の Mario Telo ヨーロッパ研究所名誉所長ほか ULB の関係者と、2016年の協定更新と両大学間のさらなる協力推進に向けて意見交換をおこなった。

◇ WERC 研究会

第1回（2015年5月26日）

宮崎晋生「ロシア新産業事業の展望：Fablab を中心に」

第2回（2015年7月7日）

浅間哲平「フランス文学から見えてくる世界」

◇ その他

2016年2月10日、「中東和平プロジェクト in 静岡（Middle East Project in Shizuoka）」を共催した。パレスチナ人とイスラエル人の学生を本学で歓迎し、本学学生とディスカッションや文化交流をおこなった。

資料

「中東和平プロジェクト in 静岡」(2016年2月10日)

イスラエル人、パレスチナ人、本学学生をメンバーとするグループ報告の様子



集合写真

